



ルー
テル

藤が丘だより

発行 月報委員会

発行日 2024年7月7日

No. 122

イエスは言われた。
「なぜ怖がるのか。まだ信じないのか。」

マルコによる福音書 4章40節・新共同訳



わたしの隣人に対して、一人のキリストになろう

行って、あなたも同じようにしなさい。

ルカによる福音書 10章37節

ルーター派キリスト教会 日本福音ルーテル藤が丘教会 牧師 佐藤和宏
〒227-0043 横浜市青葉区藤が丘2-31-21 tel 045-973-2729/ fax 045-439-7009
URL:<https://www.jelc-fujigaoka.org/> mailto: fujigaoka@jelc.or.jp



私たちはつい人間の立場やその期待するところを聖書から聞きたいと思うのですが、そうすると神の御心がわからなくなってしまうと言えるでしょう。ですから聖書に対して、人間の思いによってではなく、神の思いを聞き取るように努めることが欠かせないと繰り返し訴えてきたのです。ところが私こそ人間の思いをぬぐい捨てることができなかつたのだと思われたのでした。どういうことかと申し上げますと、平穏な時にも、たとえ嵐の中にあっても、主が共にいてくださる。この主にあつて平和がもたらされる。これが「関係の平和」であると考えてきたのでした。この時私は、状況の平和については、人の思いに基づく平和とし、関係の平和については、神の思いに基づく平和と理解してきたのでした。

ところが先の退修会、開会礼拝にて、松本会長が言われたのは「主は私たちと一緒に沈んでもくださる」ということでした。これを耳にしたとき、私はいわゆる状況の平和にしても関係の平和にしても、結局のところ主が共におられるから、沈むことはないという、人間の期待に応じた理解に過ぎないのではないかと気づかされたのでした。そうではなく、神の思いは共に沈むことを厭われないということなのです。それは、人の目にあまりにも無力であり、無意味である、無駄であると映るでしょう。しかしそれこそ人の思いに従つての判断に過ぎないのです。

預言者イザヤを通して告げられる、神の思いが人の思いを高く超えているということは、人の思いが沈まないようにすることであるのに対して、沈みゆくその人間と沈まれるほど、共におられる神となられたということ

なのです。それは私たち人間が罪に陥らないようにするのではなく、罪の陥った者のために、御子イエスを十字架に挙げられた御心に共通しているのをみるのです。これが私たちの思いを高く超えた神の思いなのであり、それは決して無意味でも無力でもないことを、私たちは知っているのです。

日課にその終わりにあつて、イエスは言われています。「なぜ怖がるのか。まだ信じないのか」と。そして弟子たちは非常に恐れて、「いったい、この方はどなたなのだろう。風や湖さえも従うではないか」と互いに言ったのでした。ここに「怖がる」と「恐れる」と同じような意味を持つ漢字が使い分けられているのは、原文のギリシャ語でも異なる言葉が用いられているためです。それによると前者は、「恐れる」、「怖がる」といった恐怖を意味し、説教題でいう第一の「恐れ」にあたります。後者は「畏怖」という、説教題でいう第二の「畏れ」にあたります。人が前者で言う、恐れに至るのは、人が人の思いに従つてすべてを判断してしまうからでしょう。一方人が後者で言う、畏れに至るのは、人の思いを高く超えた神の思いに従う時でしょう。周囲の状況の変化に目を奪われ、恐れる私たちがいるのですが、その私たちがたとえ沈みそうな時にも、いいえ沈みそうな時だからこそ、一緒に沈むほど私たちと共におられる方がおられるのです。この方をただ畏れるようにと、今日私たちは招かれているのです。

どこまでも一緒にいることを望まれる、主の愛に畏れつつ、この神を希望と見上げつつ、神の平和の道をすべての人々と共に歩んでまいりましょう。

(聖霊降臨後第5主日)

●召天 ○野○子さんのこと／○野さんの原稿

○野さんは、幼少期の頃、自宅そばにあった教会に通い始め、礼拝が始まる合図の鐘が鳴り始めると、遅れないように走って通っておられたと伺いました。

神戸にお住いのころ、伝道師の学びをされて、遣わされた教会の人たちとの交流の様子を懐かしく話されていました。

油絵や人形づくりなどがお得意で、数々の作品を拝見したとき、そのすばらしさに驚きました。「ひとつひとつの作品について、お話を伺いたいな」と思いましたが、叶わぬこととなってしまいました。(○田和○)

昨年12月に召天された、○野○江さんを偲び、○野さんが書き留めていた原稿を掲載させていただきます。

○野○子さん最後の原稿

私が横浜の(藤が丘)教会に初めて礼拝に出席した日、何年かの友人のような親しく話し掛けて下さった気さくな夫人がいた。その方がH姉妹だった。それとなく横に腰を掛けトツツと！その雰囲気の中に自然と溶け込

んで行けるように…。帰りも同じ方向と知りほかの姉妹と一緒に帰宅。自然に配慮下さる姉妹 一求道者の様に素直になれた。

彼女には牧師夫人としての素質が備わり、古だぬきの様な私は皮を剥がれた何かの様に素直になれた。

夏の日、橋本の駅の通路の横の丸テーブルでお茶を飲み陽の沈む頃までよく話した。2,3の姉妹と楽しかった。夏の夕暮、月日はいつの間にかいつの間にか追いやり過ぎていった。

半年程の夏の間会わなかった彼女は何も言わずに天に行ってしまった。その優しい後ろ姿だけを残して!

同じ月、12月はじめ、私は郷里の友人とTELで春に会う約束をしたが、10日後、彼女もこの世を去った。あっけなく!

教会の親しい姉妹を亡くし郷里の友がいなくなった。新年、私はポッカリ穴のあいた心でうつろに過した。何をしてもうつろだった。唯、もうすぐ私も行く。体もよろよろになり、イエスさま、その時はよろよろの足でなくしっかり替えてください。

歩いて行けるところに教会がある、と発見。時々ミサに出席しておりましたが、脚が弱ってからは坂の登りがつらく、ご無沙汰しておりました。『そういえば、すぐ近くにルーテル教会があるなあ、同じイエス・キリストなんだから、一緒にお祈りさせて頂こうかしら』、と思立って、お邪魔してみましたら…驚きました。はじめての日から、皆さんがあたたかくお声かけて下さるし、礼拝は静かな熱に充ちて力強いし、終わりの祝福は「さあ、しっかり一週間を生きて、来週またここに戻っ

(次ページに続く)

●出会いに感謝 ○田○和子

宗教をもたない家庭に育ちましたが、小学校から高校までカトリックの学校に通ったのは、親によれば「すぐ近所だったから」だそうです。高校時代に、一番の親友が洗礼を受けるといので「じゃあ私も」という感じで信者になりました。大学時代が誘われて「カトリック研究会」に入ったりしましたが、その後も「信仰生活」と言えるほど真剣にもならず、教会に行くのはクリスマスだけという生活でした。藤が丘に引越しましたら、

(前ページより続き)

て来ましょう」と励まして下さるし、『なんだかここには本当の共同体が在る…』と実感できました。人生ではじめて、日曜日に教会に行くことが待ち望ましくなりました。水曜日の聖書研究会も毎回素晴らしい時間です。人生の終わり近くになって、こんなにいいご縁を頂けたことに深く感謝しつつ、残りの時間を共に生きさせて頂きたいと思っております。

●女性会だより

6月16日 12名出席

司会、祈り 永○姉 讃美歌 402番

1 聖書の学び マタイによる福音書 6章 9節 主の祈りについて

「主の祈り」は私達にしみついている。

天にまします我らの父よ。

天の父よ。

30年～40年ごとに言葉も変わる。本来の意味に耳を傾けることが大切である。

2 女性会例会

6月7-8日第26回連盟総大会の報告

7月以降の女性会例会について

藤が丘教会女性会として今後どのように進めていくかを会員で共有するためにアンケートをだす。

お仕事会について 8月は開催。

第26期東教区女性会／第1回会長会 & 信徒の集い

7月13日(土) ルーテル学院大学内

午前の部 10時～11時35分

開会礼拝・奨励 小勝奈保子牧師

(聖パウロ教会)

今月、受洗記念日を迎えた方々

6日 ○田由○子姉 23日 ○野○子姉
25日 ○井○子姉、今○○子姉
30日 ○坂○美姉



おめでとう
ございます。

わたしの隣人に対して、一人のキリストになろう
「行って、あなたも同じようにしなさい。」

ルカによる福音書10章37節

●藤が丘教会の情報は、右のQRコードから



午後の部 12時25分～15時

講演会 渡邊さおり牧師

(日本バプテスト同盟牧師マイノリティ宣教
センター主事)

「平和ってどんなこと？」

私の平和、あなたの平和」

多様性の中で平和を実現するために今、私達に出来ることをともに考えてみませんか？

次回例会は7月21日

●牧師室より



暑中お見舞い申し上げます。お変わりありませんか？ 皆様のご健康が守られますようにお祈りいたします。(佐藤)



👉スマートフォンで、こちらのQRコードを読み込むと、教会のさまざまな情報を、確認出来ます。